

2ステップ

2ステップとは？

イギリスで生まれた「UKガラージ」が発展してできたジャンル。

「UKガラージ」とは、ガラージ・ハウスをベースに、

より強いシャッフル感やシンコペーションを取り入れて誕生したハウスの発展系です。

そんな「UKガラージ」から4つ打ちなどの規則的なビートを排除し、より軽快なビートへと進化させたのが「2ステップ」というわけです。

2ステップは後に流行する「ダブステップ」の原型となるジャンルで、様々な楽曲へ影響を与えた重要なジャンルでもあります。

2ステップの特徴

最も大きな特徴は、その軽やかなビートを特徴づける「キック」にあります。4つ打ちなどの規則的なビートではなく、シンコペーションを多用した飛び跳ねるようなリズムが特徴です。

また、その軽快さを助長するように、強めのスウィング感で演奏されることも特徴で、タイトで軽やかな音色もそのも重要な要素となります。

- シンコペーションを多用した不規則なキック
- 強めのスウィング感
- タイトで軽やかな音色

シンコペーションを多用した不規則なキック

2ステップ最大の特徴はそのキックと言っても過言ではありません。

シンコペーションを多用し、不規則なリズムで演奏されるキックが、2ビートらしい軽快なビートを作り出しています。

一方で、スネアとハイハットはハウスのそれを流用したようなビートで、2ステップがハウスから発展したジャンルであることを伺えますね。

強めのスウィング感

「UKガラージ」の特徴でもある強めのスウィング感は「2ステップ」においても存分に受け継がれています。

3連符のノリを感じさせるしっかりとしたスウィングで、軽快なビートを実現させましょう。

タイトで軽やかな音色

2ステップの軽快さは、その音色からも感じることができます。

とくにスネアは特徴的で、ピッチが高くテール(余韻)が短めの非常にタイトでヌケの良いサウンドが用いられます。

2ステップには欠かせない特徴ですので、サウンド選びの際にも十分に心がけましょう！

2ステップのビート

パターン①

パターン②

パターン③

パターン④

The image displays four musical patterns, labeled ① through ④, for a 2-step beat. Each pattern is written on a two-staff system (treble and bass clefs) in 3/4 time. A common time signature $\frac{3}{4}$ is shown at the beginning of each pattern. The notation includes eighth notes, quarter notes, and rests, with some notes marked with an 'x' to indicate specific rhythmic values or accents. The patterns are arranged vertically, with each pattern starting on a new line.

2ステップの音色選び

2ステップでは軽やかなビートを実現するために、
軽やかでヌケの良いサウンドを選びましょう。
とくにスネアは「パン！」というよりは「カン！」という雰囲気、
ピッチの高い音を選ぶことが重要です。

サンプラー側でピッチを高めても良いですし、
スネアの代わりにリムショットを用いるのも有効ですね。

- 全体的にタイトで軽やかな音色
- スネアはとくにタイト & ピッチ高めを意識して

2ステップの打込みのコツ

■ 2ステップのベロシティ

16ビートのベロシティの基本に則って設定すればOKです。
ハウス特有の裏ノリ感を強調する意味でも、
ウラ拍のハイハットは強めに打込みましょう。
同時に、16分ウラのハイハットは
ゴーストノート気味に控えめに打込むことでノリがアップします。

■ 2ステップのクオンタイズ

2ステップのクオンタイズにおいて何よりも重要なのがスウィング感。
スウィング値80%~100%くらいの、
強めのスウィングを適用して十分にハネさせましょう。